

My father's maid's sisters

YAMAKUMO

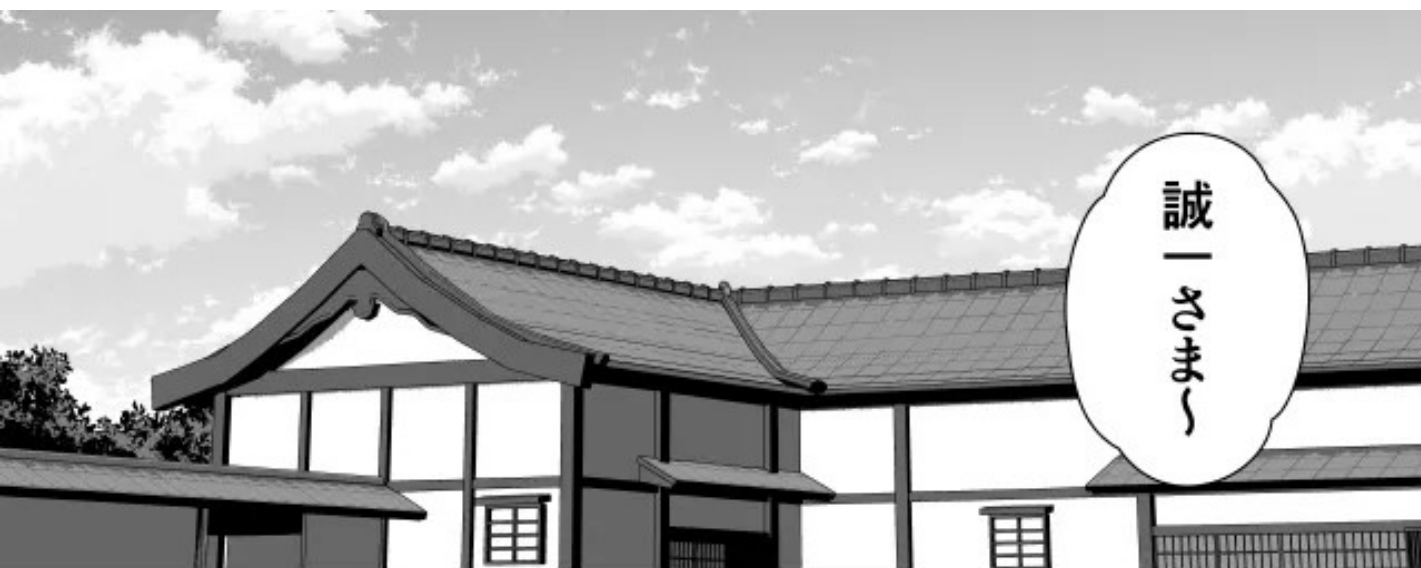
父の女中姉妹

本編

65頁









気を落としては  
いけませんよ

わふっ

むぎゅっ



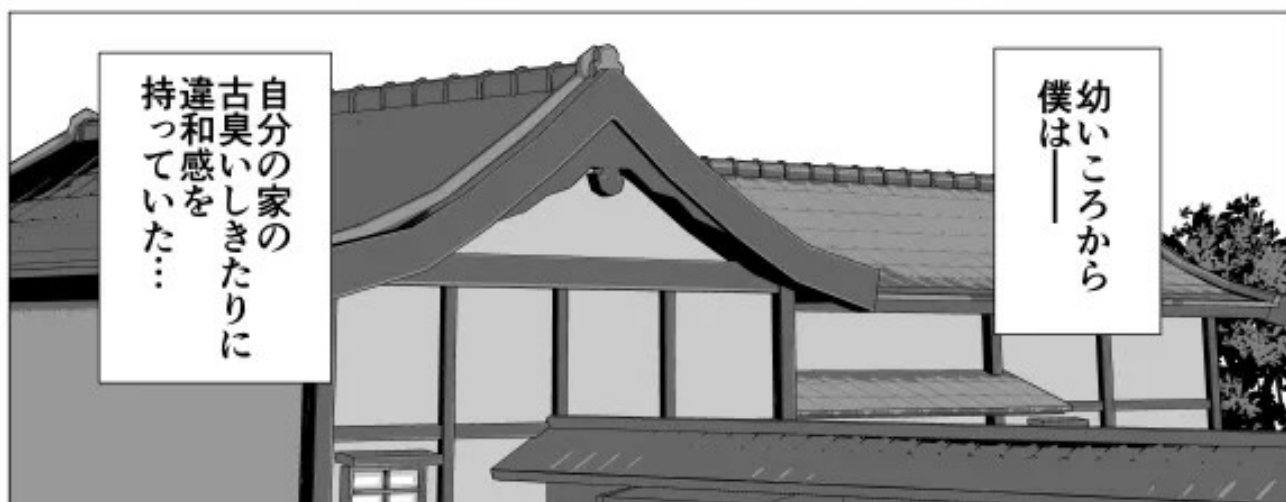
まあ  
誠一さま…



次の当主に  
なられる方への  
期待から  
厳しくなさっている  
のですよ

うん…  
うん…

旦那さまは  
誠一さまを憎くて  
おっしゃっている  
ではありません



幼いころから  
僕は――

自分の家の  
古臭いしきたりに  
違和感を  
持っていた…



『女中』なんて  
いうものは…

普通は  
漫画の中にしか  
いないものだとか  
子供ながらに  
知っていたし…



家の後継ぎとして  
扱われるのも  
今どきの家には  
あまりないことも

子供ながらに  
理解していた



父や家のものが  
和装をして  
いたりとか…



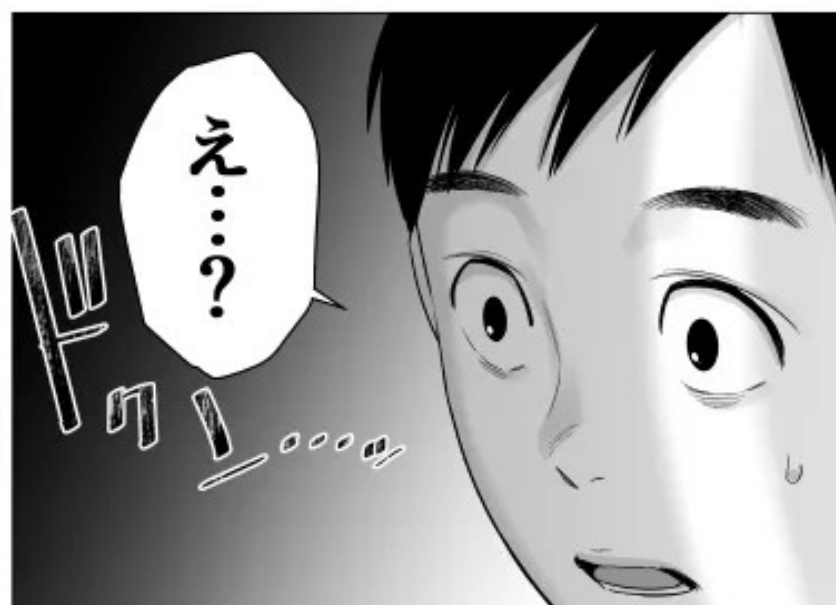
お姉ちゃんのお  
おっぱいで  
元氣になった  
かな？

にひひ

ち…  
ちがうよっ

もう  
千佳ったら！  
うふふ







ハア...

ハア...

ハア...

見えた？  
静かにね...

.....!



それを  
厳格な父が…



いつも優しい  
チヅルに  
しているなんて



いけないこと  
だと思っていた

女性の裸を  
見るなんて…



うん



こんな時まで僕は  
チツルの裸を  
見たことをチカに  
咎められるのでは  
ないかと恐れていた







あの父が  
僕と同じように  
股間を勃起させて  
いることにも  
驚いたが……

それを……



え……？

あろう  
ことか……



え……？  
え……！

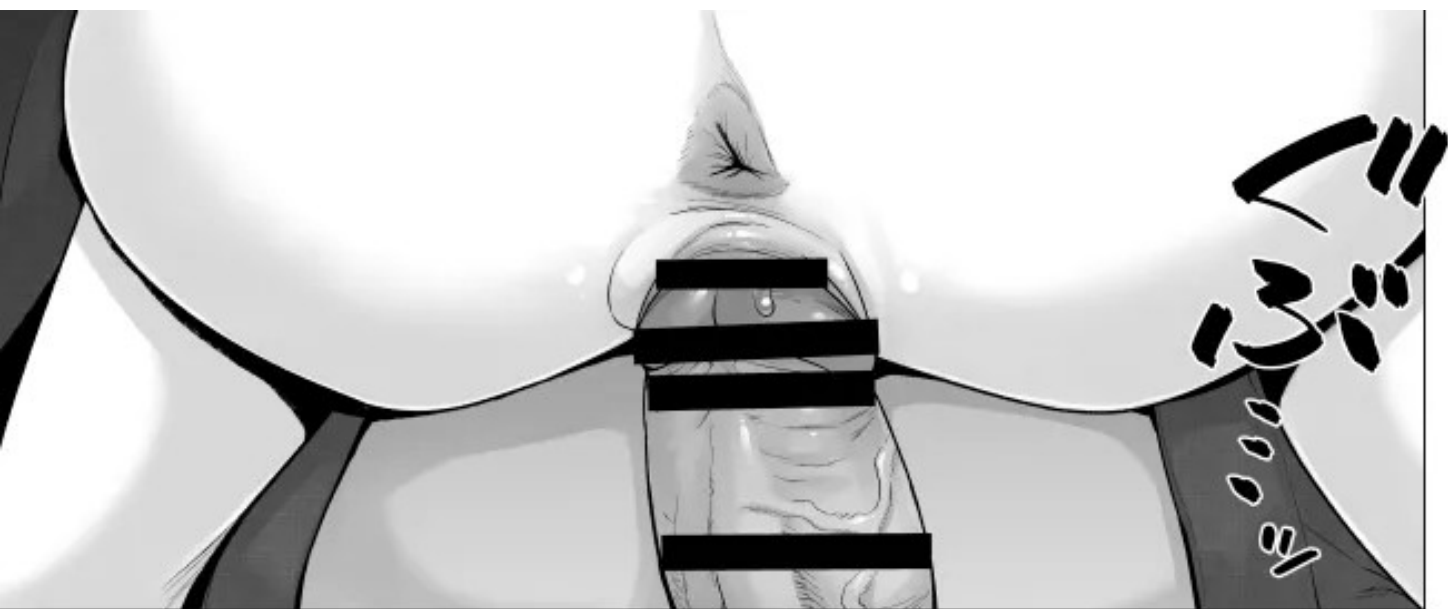


チツルは……

漫画のように  
叫ぶことも  
目を背ける  
こともせず……







父に  
抱かれて  
いる  
姿を——!!









これはね…  
感じてる  
声なの

アンアン♡  
…って



で…でも…  
こんなに  
苦しそうな  
声を出して…

ああ…ツ

はあ…ツ

苦しそう？  
ちがうよ



こんなこと  
を…

何回も…



そんな猥らな  
行為は…  
せめて—…

あ…！

見て見て！  
これから  
すごいHな  
格好になるよ



腹の出た  
だらしない体の  
中年男に…

醜い肉棒を  
突き入れられる  
なんていう…



これが…

一番知りたく  
なかった言葉  
かもしれない



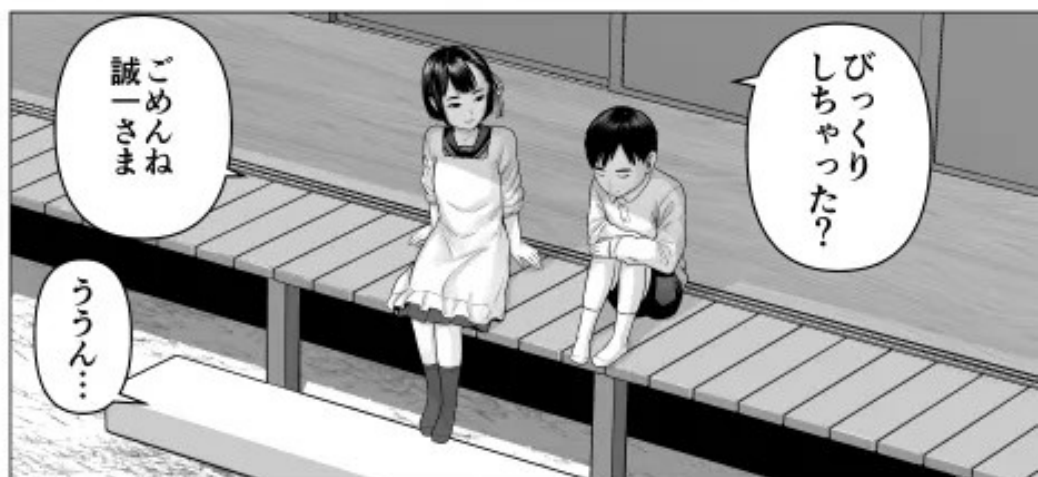








衝撃が  
過ぎた後に  
僕はふと  
気が付いた…



ごめんね  
誠一さま

ううん…

びっくり  
しちゃった？



いつかは  
チカも…

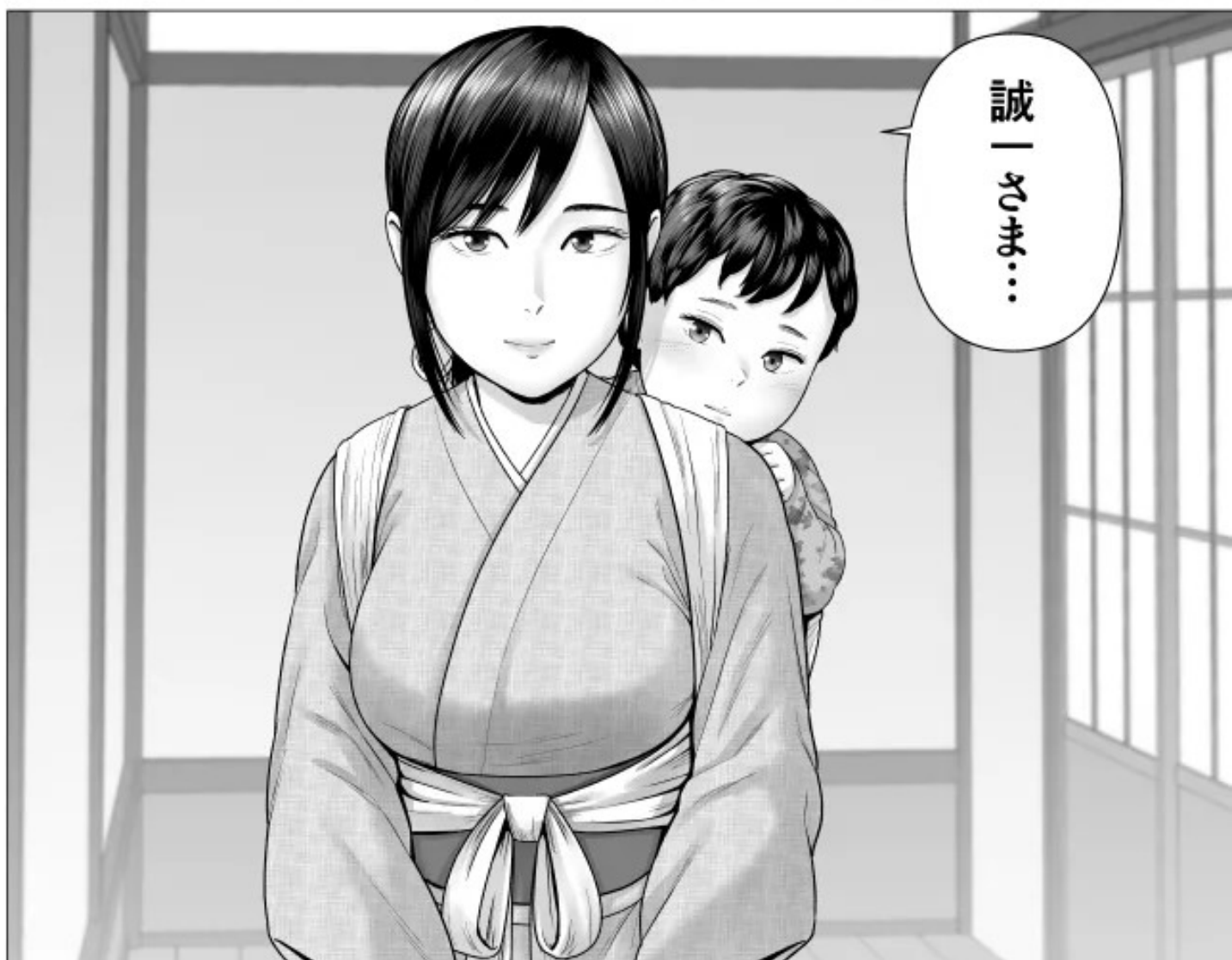
姉と  
同じことを  
—？

数年後…





誠一



チヅルは  
去年――

“私生児”を  
産んだ……



家の者たちは  
相手のことを  
聞くわけもなく

当然のように  
受け入れていた



ひとりの  
女性の人生を  
弄んでおきながら

父は何も  
言わない……

チヅルの子を  
見ようとも  
しない……

あら  
誠一さまも  
今お帰りです  
か？

……



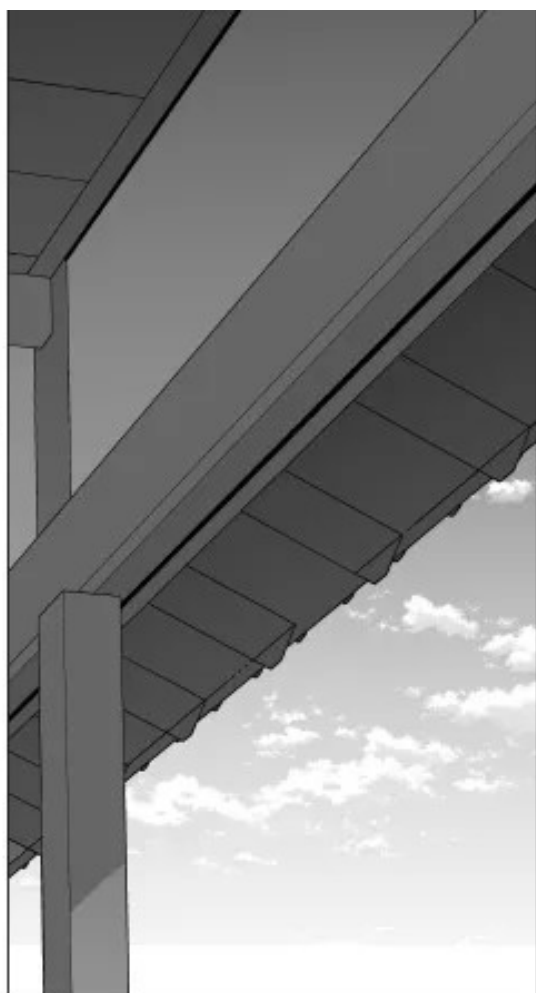












そういうのは  
私にとっては  
インターネット  
とかの話だなく

世の中とかより  
このお屋敷の  
決まりが私の  
現実だもん

私の家が  
今もあるのだって  
旦那さまの援助が  
あったからだし…

まあ  
しょうがない  
かなーって

家のこととか  
決まりとか…！

昔からの  
しきたりとか…！

ここは  
そればかり…  
もう  
うんざりだ!!

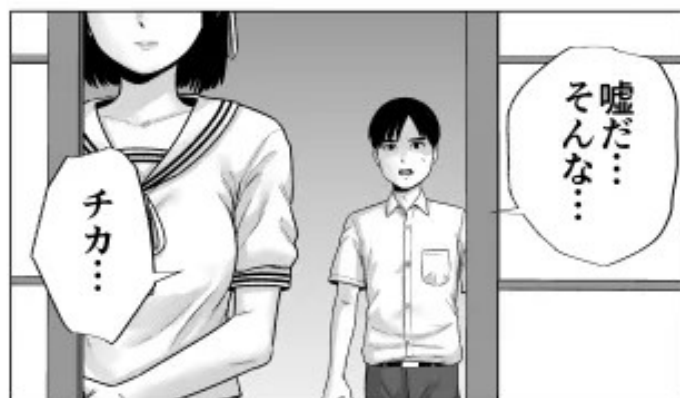
父さんもそうだ！  
自分は親から  
受け継いだだけの  
くせに  
それを当然の権利だと思  
っている…！

あまりにも  
醜悪だ…!!

チカ…  
僕は…ずっと  
考えていたんだ  
…

え…？













私も  
あんなふう  
に旦那さま  
に抱かれ  
るんだ  
……って

ずっと  
思っ  
て  
いま  
した



私……小さい頃  
に旦那さまが  
お姉ちゃん  
と  
して  
い  
る  
と  
こ  
ろ……

ひとりで  
覗いたこと  
が  
あ  
る  
ん  
で  
す……



さあ……  
自分で脱い  
で  
見  
せ  
な  
さ  
い

……



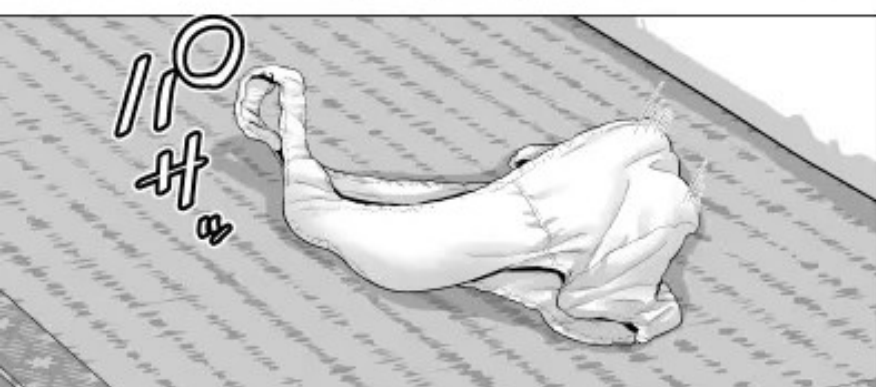
はい……



はっは！  
そんなに前  
から  
楽  
し  
み  
に  
し  
て  
い  
た  
の  
か  
！  
い  
け  
な  
い  
子  
だ  
な  
あ  
千佳はあ……





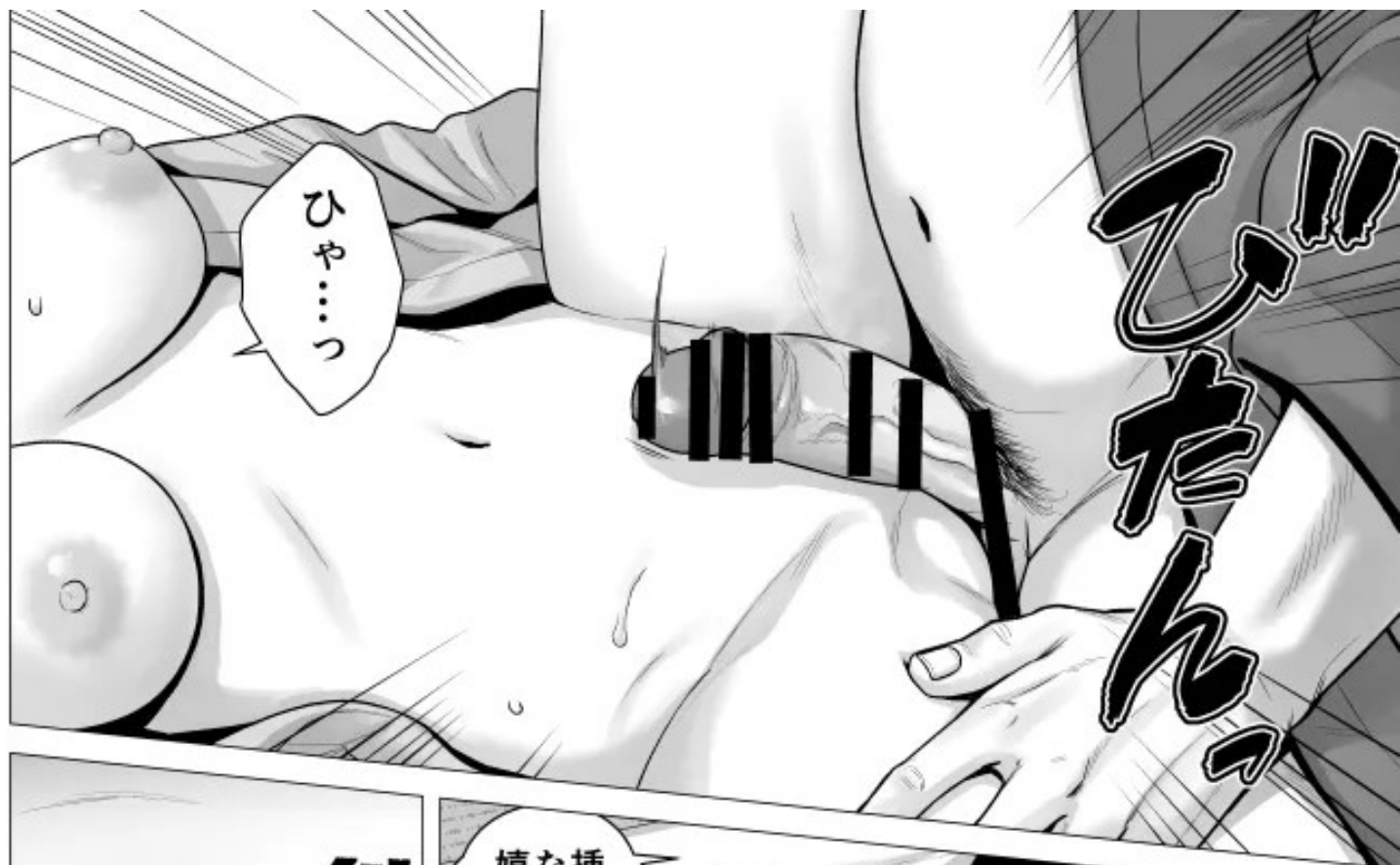














だ…旦那様のおチンポで…



千佳を…女にしてください…



ドク…



ああッ

あ…ッ

ズグ…ズグ…



あゝ  
あゝ  
ミ



初めて…  
が…

ハァ…

私の…

ハァ…



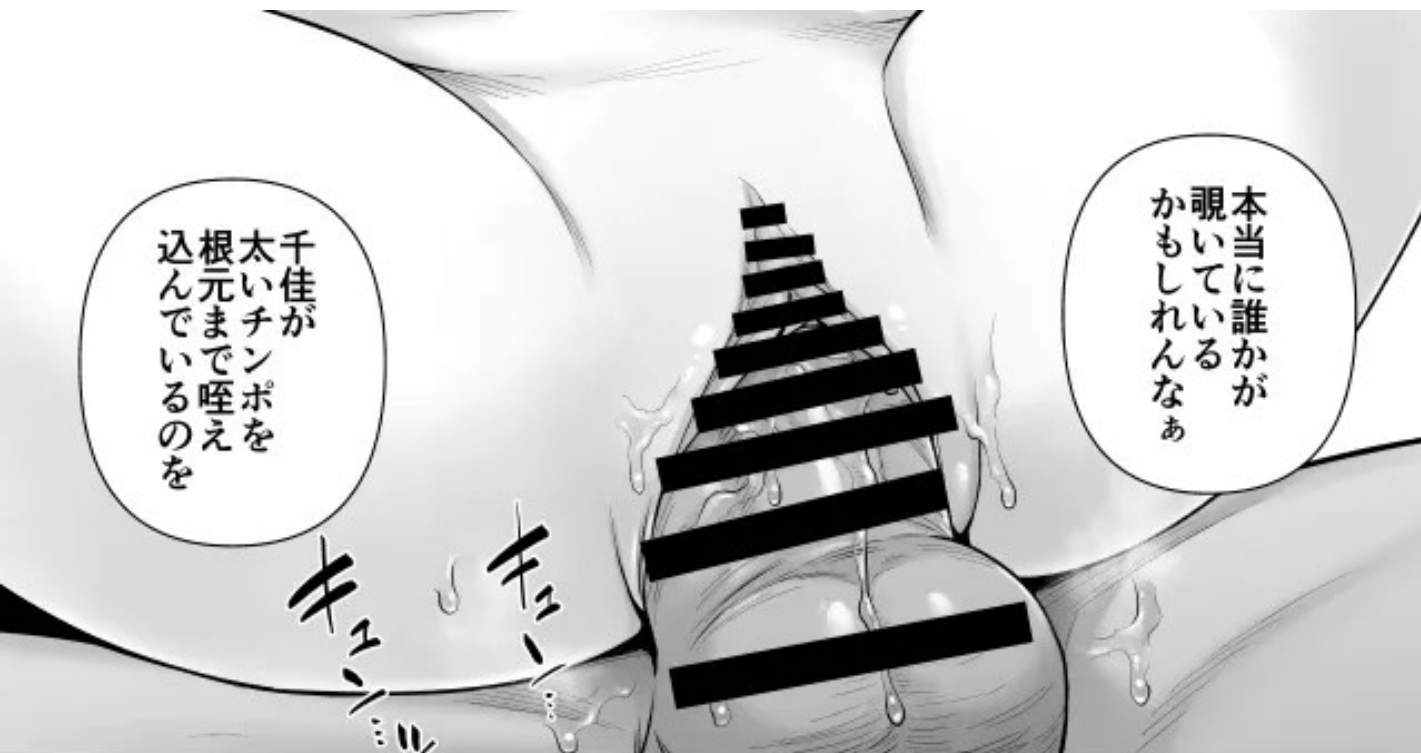






















わかってるな？  
我が家の女中は  
腹の中まで  
当主の物だ

うう…



気に入ったぞ  
千佳あ…

これからは  
何度も何度も  
抱いてやる  
からねあ…



ぐああッ

あッ

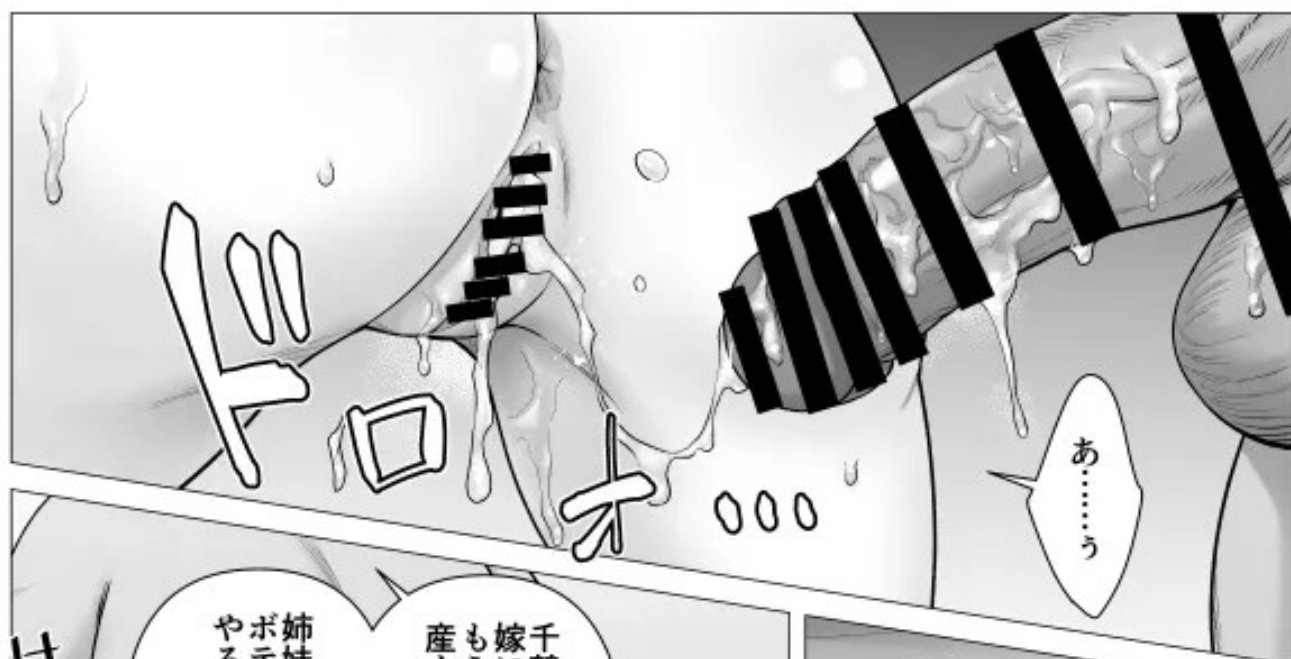
膣内に  
出すぞお!!

千鶴と  
同じように  
孕ませてやる!



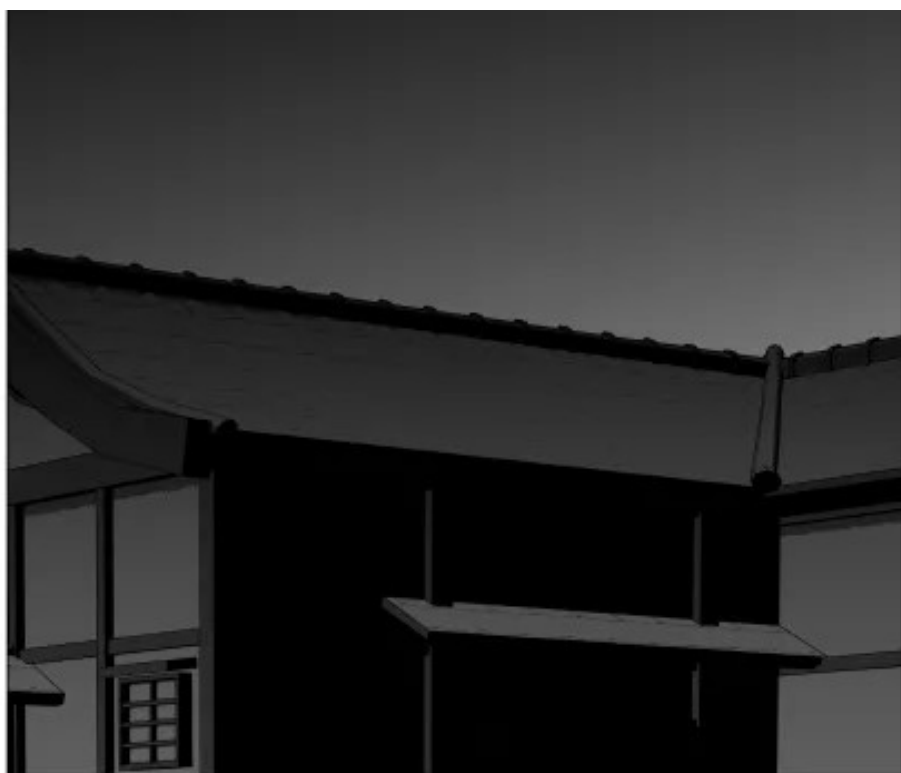








ごめんね…



誠一さま…



私…

旦那さまの  
ものに  
なっちゃった…